

発電所・ダム便り 令和4年12月1日発行 第20号

【旭ダム管理所が昨年リニューアルしました】



【旭ダム新管理所(右)と旧管理所(下)】



【新管理所竣工式】

旭ダムの管理所は、道路脇の高台へ移設しました。これまでの管理所は、昭和10年に旭ダムや湯野上発電所と同時に建設されたもので老朽化が進み、また大きな洪水の際には浸水するなどの被害を受けたこともあり、安全面での対策が求められていました。

工事は無事故無災害で完了し、関係者の方々への感謝と新管理所の披露を兼ね、昨年10月14日に竣工式が執り行われました。

新管理所からはダム設備全体が見下ろせ、さらに管理関係の機器も一新したことにより、一層の安全・安定運転に努めて参ります。

【インターンシップで発電グループの業務を体験してもらいました】



【湯野上発電所パトロール体験】



【新管理所での教育と操作体験】



会津工業高校の生徒さん3名が、本年10月5日にインターンシップで業務体験をしました。ダムや発電所、送電線等を見学した後、設備について説明を受けパトロールと各データ記録の実務を行いました。初めて目にするものが多く驚いていた様子でしたが次第に質問が飛び交うようになり、後日届いた手紙には「設備の迫力に圧倒された」、「管理の大変さを知り貴重な経験だった」との感想をもらいました。東長原事業所では、毎年インターンシップで生徒を受け入れており、ここでの体験が自身の将来や学校生活について考える良い機会になればと思っています。

【旭ダムと湯野上発電所で水神祭を執り行いました】

旭ダムの水神様と湯野上発電所の大山祇神社を崇め、水の恵みと関係先の皆様への感謝を伝える目的で、4月20日に水神祭を執り行いました。

高倉神社の長沼宮司により滞りなく神事が進められ、今年1月に着任した西村事業所より挨拶があり、ねぎらいの言葉や水力発電所がもたらす再生可能エネルギーへの期待について述べられました。今年も新型コロナ禍で従業員と業務委託先のみでの参列となりましたが、以前のように地域の皆様をお招きして開催できる日を心待ちにしております。



【業務委託先参列の水神祭】 【西村事業所長より挨拶】

【アルミ缶リサイクル受納式を行いました】



【池田発電グループリーダーより星理事長へ】

社会福祉法人南陽会が運営する下郷作業所ホイップ様にて、作業で使用するラベルプリンター他用具類の受納式を9月20日に行いました。当社ではCSR活動の一環としてアルミ缶リサイクル活動を行っており、毎年その収益金を利用し福祉施設等に寄贈を行っています。

また、当施設はアルミ缶回収にもご参加いただき、昨年は約12万缶を集め、7月28日に東長原事業所において最優秀大賞に表彰されました。今後もこの活動を通じ、地域に貢献できる身近な企業であり続けます。

新任 発電グループリーダーの池田よりご挨拶

今年も「発電所・ダム便り」を発行出来ましたこと、発電グループ一同より御礼申し上げます。来年から社名は変わりますが、同じメンバーで業務を遂行して参ります。これからも、愛される発電所・ダムを目指して私たちの活動をお知らせする「便り」にご期待下さい。

※社名変更のお知らせ※

昭和電工グループは2023年1月に Resonac(レゾナック)グループに生まれ変わります。



Resonate:「共鳴する・響き渡る」とChemistry:「化学」のCを組み合わせた社名です。

ご意見・ご感想をお寄せ下さい。

発行責任部署:昭和電工(株)東長原事業所 発電グループ TEL0241-67-2327・FAX0241-67-2329